

# 市政報告

2022.04 vol.23

すみもと

住本かずのり

すますみ便り

ヤル気、元気、本気!

日本維新の会  
神戸市会議員団

神戸市会議員・須磨区選出



令和4年第1回定例会にて

## 議会改革検討委員会 において議員定数削減等検討中

議会内では昨年より、「議会改革検討委員会」が組織されて議員定数削減などが議論されています。我が会派は4年前に「本議會議員数は人口同規模他都市(福岡市、川崎市)と比較して議員数が8~9名多い。従って同規模他都市と合わせて削減すべき。せめて段階的に削減し4名からでも始めるべき。」と議長宛に提言書を提出しております。引き続きその考えに基づき、今回の検討会でも主張しております。引き続き「身を切る改革」として、議員定数、議員報酬削減に取り組んで参ります。

## 「身を切る改革」実行中!

私は毎月議員報酬手取り相当額2割を被災地等へ寄付を続けています。  
※公職選挙法上、神戸市内の寄付は禁止されています。

寄付状況 令和3年度1月から12月分  
合計 **1,495,500円**  
寄付先 長崎県令和3年8月大雨義援金として

第1回定例会  
令和4年2月24日

## 令和4年度新年度予算会派代表質疑を行いました

### Q1 名谷・落合中央公園リニューアルについて

他の質問は  
裏面へ続く▶

住本  
質疑

名谷駅ビルリニューアルと共に、落合中央公園のリノベーションが新年度予算で計上されている。計画では、芝生広場と新たな遊具が示されているが、公園内に位置する落合池は江戸時代初期の古い地図にも記載があり、その池を境にして摂津と播磨の国が分かれていたという国境いの歴史ある池でもある。また、公園内では「けいか木」の化石が出土したり、約50種類もの野鳥が観察できたりして、大変自然豊かな公園でもある。リニューアルの際は、これらの「歴史性」や自然環境を活かしての「教育的観点」や「住民との親和性」を取り込んだ検討もするべきと考えるが。

油井  
副市長

落合中央公園のリノベーションにあたっては、駅からのアクセス改善、回遊性の向上、散策ルート、展望スポットの整備など特色ある豊かな自然環境を活用したい。また、ご指摘いただいた自然環境だけでなく、歴史的文化を伝える貴重な資源となっていると思っている。そのような教育的視点も踏まえながら、自然環境をはじめ様々な公園の特色を活かして取り組むことで、公園の魅力をさらに高めていきたいと考えている。

住本  
要望!

現在、公園内の管理事務所2階で神戸市と兵庫県立大との共同で、テレワーク、コワーキングスペース等を提供する社会実験が行われている。その中でもゼミが開催されて地域の方々が様々な公園活用法を提案している。今後の実験結果を踏まえて、公園ハード整備だけではなく、地域住民の公園やまちづくりの対する「協働と参画」につながるようなソフト面の仕掛け作りの拠点になるよう整備願いたい。



▲約100年前の地図。  
ピンクの線が摂津(右)と播磨(左)の国境、中央丸印が落合池。  
〔出典〕1923年測量大日本帝國陸測量部 25,000分の1地形図に加筆

▼落合中央公園イメージ



【昨年度決算代表総括質疑】令和3年9月24日

## 私の市政報告の前月号(22号)で掲載しました質疑要望が実現しました!

1

コロナ禍においては若年者の軽症の陽性患者が増えている現状より、自宅療養者は益々増加すると予想される。「ファストドクター」に代表される事業者はPC、スマホからでも24時間自宅からオンライン診療が可能である。柔軟な医師相談体制の確保をお願いしたい。

実現!

事業者「ファストドクター」への委託により、診療所および病院の対応時間外(平日夜間および土曜午後、日曜祝日)において、保健センターの依頼にもとづき、医療的支援を必要とする自宅療養者への電話・オンライン診療を行い、必要な方には往診を実施します。(令和4年1月28日より実施)



2

神戸市看護大学は市内他の看護大学に入試の競争率で負けてしまっている(令和3年入試前期1.9倍)。また、卒業生の市内就職率(46%)と低く、市税を投入している大学から他都市に看護師の流失は問題である。市内就職率アップ、選ばれる大学となることは喫緊の課題である。

実現!

神戸市看護大学における優秀な学生の確保・市内就職促進施策が実施されることになりました。

- 入学金の引き下げ(令和5年4月入学生から対象)  
〔市内生〕28万2000円 → 14万1000円 〔市外生〕42万3000円 → 28万2000円
- 市内医療機関等に新卒就職する学生に奨励金を支給  
(令和5年3月の卒業生から対象)  
〔支給額〕14万1000円、市内入学生が市内就職した場合実質入学金“0”円



神戸市  
学校給食  
センター  
整備計画

## 中学校給食の全員喫食制への取り組みについて

中学校給食の全員喫食向けの取り組みは前回お知らせした通り「中学校給食の全員喫食制への移行に向けた基本方針」に沿って進んでいます。そこで新たに市内2箇所の学校給食センター整備をするにあたり、建設予定地が決まりましたのでお知らせします。

①(仮称)北部学校給食センター(神戸市北区藤原台5丁目19番)

調理能力 1日あたり最大11,000食程度 配送エリア 主に兵庫・北・長田区

②(仮称)西部学校給食センター(神戸市垂水区狩口台3丁目1-3)

調理能力 1日あたり最大9,000食程度 配送エリア 主に須磨・垂水区

市内他のエリアは民間の給食センター、近隣の小学校の調理室からの配送などで令和6年度中を目途に、中学生全員喫食に向けての事業開始で進んでいますので、引き続き取り組んで参ります。